

# あなたの老後の生活 想像できますか Q & A

カ ン タ ン

やさしい  
年金講座(その45)


## 厚生年金基金の代行返上について

**Q** 最近、新聞で厚生年金基金の代行返上という記事を見かけますが、こういったものなのでしょうか？また、東洋紡の厚生年金基金はどのように検討されているのでしょうか？

**A** 厚生年金基金の代行返上とは、厚生年金基金が国から預って給付している厚生年金の一部（代行部分）を国に返してしまうことです。東洋紡厚生年金基金も厳しい運営環境の下、代行返上を検討し国へ申請をしております。代行返上を実施することにより、会社から基金への追加拠出を抑制することができ、企業体質の強化につながります。また、代行返上をして加入者のみなさんが負担する年金保険料や将来受け取る年金額は、基本的に変りません。主旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。

### まずは、年金制度のしくみを見てみましょう。

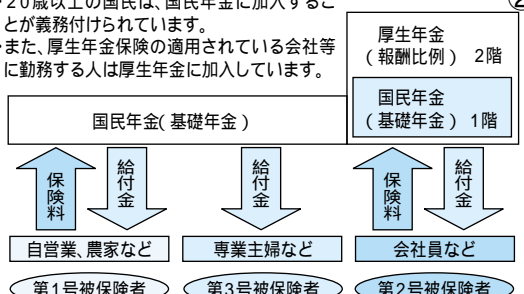
**年金制度のしくみ** ①



私たちの加入している年金制度はどのようになっているのでしょうか。

②

- ・20歳以上の国民は、国民年金に加入することが義務付けられています。
- ・また、厚生年金保険の適用されている会社等に勤務する人は厚生年金に加入しています。



**そのうえ、東洋紡には厚生年金基金があります。** ③

- ・3階建ての年金制度  
社員について、退職金を原資とした年金制度を作っています。
- ・3階部分の掛金は、会社が全額負担しています。
- ・基金独自に、国の年金に上乘せ(+ )しています。

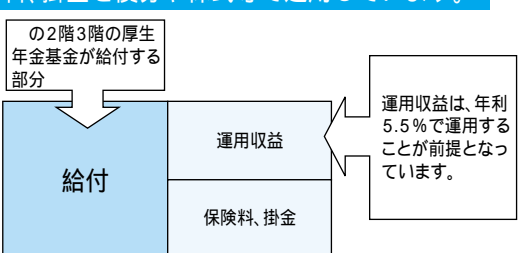
厚生年金基金から支給	加算年金 退職金部分		3階
	基本+ 部分		
国から支給	厚生年金	報酬比例部分 (物価スライド)	2階
		基礎年金部分	1階

④ **厚生年金基金制度とは？**

- ・国の年金制度と連携する企業年金制度として昭和41年に創設された制度です。
- ・厚生年金の一部を代行する基本部分と退職金の一部を年金化した加算部分があります。
- ・厚生年金基金制度では、予定利率（5.5%）による運用収益が得られると仮定し、収益分を控除した残りを掛金として積み立てるように設計されています。


給付(年金・選択一時金)現価 = 掛金 + 予定運用収益(5.5%)

**厚生年金基金では、給付に充てるため、保険料、掛金を債券や株式等で運用しています。** ⑤



運用収益は、年利5.5%で運用することが前提となっています。

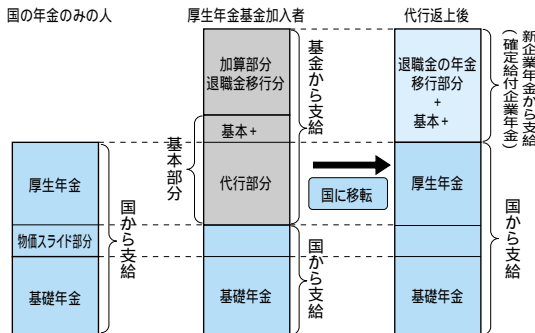
以上が、年金制度のしくみです。  
厚生年金基金を存続していくには、5.5%の運用利益が確保されなければなりません。  
運用利益が確保されなければ、会社の追加拠出が必要となります。



## 次に、代行返上とは具体的にどういうことか見てみましょう。

### 厚生年金基金の代行返上のしくみ ⑥

厚生年金基金に積み立てられた年金資産のうち、代行給付に係る資産を国に返却し、残りの部分を新企業年金に継続する仕組みです。



### 代行返上によって期待される効果(目的)は? ⑦

代行部分についても、厚生年金基金が資産運用していますが、代行部分を抱えることからのリスクから逃れることができます。

年金資産運用の観点

年金資産のスケールメリットは減少するが、代行部分にかかる運用リスクから開放されます。

企業会計上の観点

代行部分にかかる会計上の負担(リスク)から開放されます。(代行部分にかかる債務も認識しなくてはならないため)

年金財政上の観点

代行部分にかかる追加資金負担(リスク)がなくなります。

企業体質の強化

### 代行返上のメリット・デメリット ⑧

#### 会社の視点

##### メリット

- 代行部分の運用リスクの消滅
- 代行部分に係る負債・費用の減少
- 制度設計の要件緩和

##### デメリット

- 運用規模縮小によるスケールメリットの低下
- 毎年、年金資産残高に対し特別法人税の課税(税率1.173%)

#### 加入員の視点

##### メリット

- 直接的なメリットは無いが、リスク軽減効果で間接的に利益還元される可能性がある。

##### デメリット

- 基金の代行部分と国の厚生年金との制度相違によるデメリットの可能性がある。

将来期間の代行返上後、記録合をを経て、過去部分の最低責任準備金を返還した後、次の方に影響が考えられます。(対象者は少数)

在職老齢年金または雇用保険の併給調整者  
国の厚生年金の受給資格期間がない者  
国と基金の年金支給開始年齢が違う者  
遺族・障害厚生年金受給者で老齢厚生年金が停止されている者

取扱い細部通知はまだ厚生労働省より通知が出ていません。

### 他基金は? ⑨

#### すでに認可された基金

トヨタ自動車、デンソー、日立製作所、三井化学、スズキ...  
12月1日現在認可基金 221基金

#### 綿紡大手10社(他9社)の動向

代行返上組: クラボウ H14.4.23認可  
日清紡 H14.4.23認可  
ダイワボウ H14.7.25認可

代行返上検討中: カネボウ  
日東紡

解散も含めて検討中: ユニチカ H15.4に解散予定  
シキボウ

解散組: オーミケンシ H13.5.21認可  
富士紡績 H14.2.19認可

どんどん認可が増えつつけている状態です。

## なぜ、今代行返上が話題になっているの?

### 長期低迷を続ける日本経済 ⑩

構造改革なくして、景気回復なし

国民に痛みを伴う改革の断行

国民に絶大な  
人気を得たが...



### 年金を取り巻く環境も大変厳しくなっています。 ⑪

国の年金

給付の条件が次第に後退しています。  
(給付減額、支給開始年齢の引上げ)

厚生年金基金

多くの基金が、解散・代行返上、給付の条件の後退を実施しています。

## なぜ代行返上するのでしょうか。 ⑫

もちろんいくつかの原因がありますが、大きく下記の二つが原因とされています。

- ・運用環境の悪化（運用利回りの低下）  
運用環境の激変により、年金財政の前提である予定利率（5.5%）が達成できないので、積み立て不足が発生し、会社からの追加掛金拠出が必要となる。ひいては会社の経営を圧迫してしまふ。
- ・退職給付会計の導入（会計基準の変更によるPBOの認識）  
退職給付会計が導入される前は、退職給付の債務は企業の財務諸表に記載する必要はなかったが、退職給付会計が導入（平成12年度）されたことにより、財務諸表に退職給付の債務を記載することが義務づけられた。そこで、大きな債務が財務諸表に現れることにより、企業格付け、資金調達への影響が懸念されるようになった。

退職金・年金債務を現在価値に割引いた額  
(現在会社として積み立てていなければならない額)

厚生年金基金存続の条件である  
運用利回り5.5%の達成は無理。

会社からの拠出金は増大する一方で経営を圧迫しています。

会社としても、退職給付債務を圧縮していかなければならない状態となっています。



## それでは、東洋紡の厚生年金基金の状態を見てみましょう。

### 東洋紡の基金 ⑬

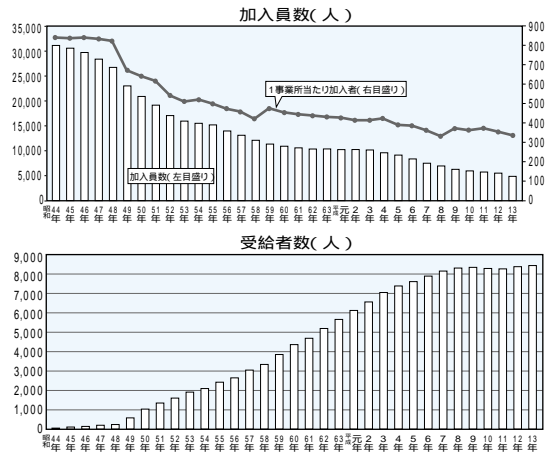
東洋紡も下記目的により、昭和44年7月1日に厚生年金基金を設立しました。

- ・退職金制度の一部を基金が担う。  
退職金 = 会社（社内引当）からの支給  
+  
厚生年金基金（社外積立）からの支給
- ・毎月の事前積み立てにより、計画的に退職者への給付財源を準備することができる。
- ・法人税法上、厚生年金基金への拠出金は全額費用として認められる。
- ・基金の積立金を運用することにより収益を確保する。



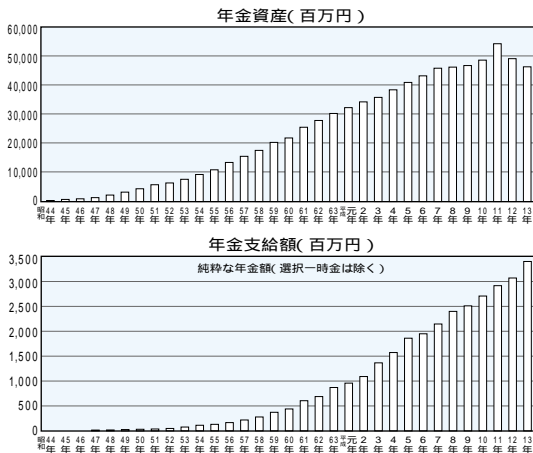
### 東洋紡績厚生年金基金人員の推移 ⑭

加入員は減る一方、受給者は加入員の約2倍



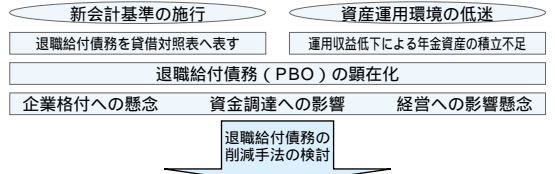
### 東洋紡績厚生年金基金資産・支給額の推移 ⑮

年金資産は11年をピークに大きく減少、年金支給額はうなぎのぼり



### 東洋紡の基金も代行返上を選択 ⑯

環境の変化に応じて対策を取ってきましたが、対策効果も及ばず代行返上



項目	政策	対策案	具体策・実施状況
退職負債の減少	【給付】	退職給付水準の適正化	H13.4実施 加算予定利率・給付利率5.5%を4.5%へ H14.4実施 加算保証期間を15年から19年へ 支給開始年齢引上げ
		退職金制度（給付水準）改定 退職金の前払 他制度への切り替え 代行部分の返上 基金の解散	H12.7実施 事業所社員制度導入 確定拠出年金、キャッシュ・バランス・プラン
の積立資産	【積立】	拠出掛金の引上げ	随時実施
		予定利率の引下げ 償却期間の短縮	H13.4実施
【投資】	運用効率向上による収益増加 リスク性資産の増強	H10.4実施	投資顧問会社を採用

都度、対策を講じてきましたが、他基金と同じように代行返上を選択せねばならない状態に！

## 代行返上による予想効果

⑰

短期的には

代行部分の未積立を償却することにより、会計上、約79億円(注:推定値)の損失が生じる。

将来的には

退職給付費用が年間約33億円(注:推定値)軽減される。

結果

経常利益に寄与できる

東洋紡績厚生年金基金は、昭和44年から年金資産を順調に増やしてきましたが、足元の経済環境悪化の中、資産が目減りしています。会社としても毎年、年金に対する費用が増大しています。

一時的に特別損失を伴いますが、費用発生を抑えることにより経常利益に寄与できます。



## 代行返上後の加入員への影響を見ていきましょう。

### 代行返上後の影響

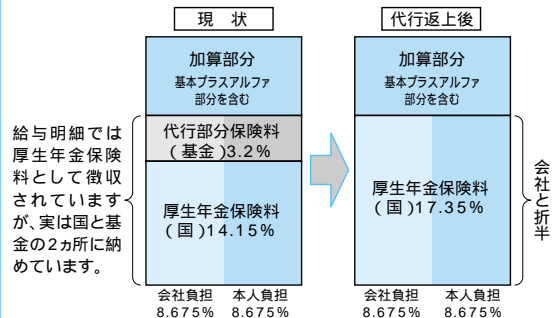
⑱

代行部分を国に返上した後、私たちの年金はなるのだろうか...?



### 代行返上後の保険料

⑲



代行返上しても、厚生年金保険料は、これまでと変わりありません。加算部分の掛金についても、これまでどおり、会社が負担します。

保険料の支払先が一本になるだけで金額は変わりません。

### 年金額は変わるの?

⑳

加算年金(退職金部分)は代行返上と関係なく、これまでと変更ありません。

代行部分は、国の制度(厚生年金保険法)に基づき給付されることとなります。

基本的に、年金額は変わりません。

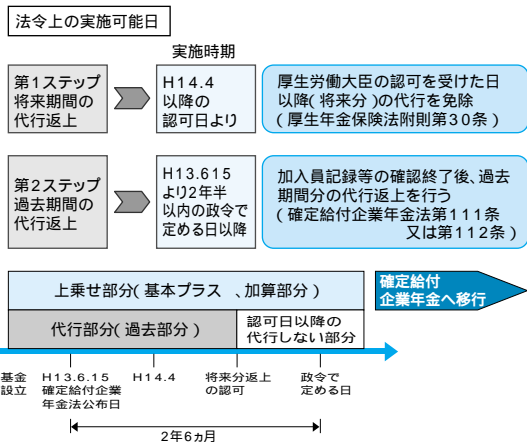
一部の方につきましては、デメリットもあります。

をご参照ください。



### 代行返上のスケジュール

㉑



第1ステップ・第2ステップと2段階となります。代行返上完了は来年の夏頃の予定です。